宮城県中新田高等学校 同窓会報

創刊号

2020. 3. 1

自主・誠実・協和

編集・発行
宮城県中新田高等学校
同　窓　会
〒981-4294
宮城県加美郡加美町字一本柳南28
TEL：0229－63－3022
FAX：0229－63－3023
印刷　㈲中村印刷 0229-63-2008

生徒と母校を支える同窓会組織として

同窓会長　佐々木　賢　司

平成29年9月から同窓会長を拝命いたしました、佐々木賢司（第15回普通科卒業）でございます。

さて、我が中新田高等学校は昭和48年に開校して以来、一貫した理念と校訓のもと、自主性を持った人間を輩出する、人財育成に秀でる学校であります。なかでも地元企業様のご理解とご協力のもと開催している同窓会主催事業の『模擬面接会』では、企業担当者様を模擬面接官に迎え、就職希望の生徒が本番さながらの経験ができる場として企画し、その成果は毎年早期の内定を頂いている結果につながっているものと思います。昨今の少子化問題から企業は人財不足が深刻な状況とはいえ、採用できれば誰でも良いわけではありません。特に社会経験の乏しい新卒者を採用する際には、学校での成績は基より、限られた面接期間内でその人物の人間性を判断することになります。そのような点からも模擬面接会は有効な事業であり、少しでも生徒たちの不安を取り除き本番への準備に向けた貴重な時間ではないでしょうか。我が母校から自信を持って世に送り出す為、今後も本事業は継続していきたいものです。

平成30年度の調査で県内の高等学校生徒における長期欠席者２２１３人存在し、不登校が１６２４人いるとされ、全国2位という状況です。中途退学者も１・８％（全国１・４％）と高い現状にあります。輝く未来が待っている生徒達の為、我が母校を支える役割を担ってまいります。今後ともご協力賜りますようにお願い申し上げます。

中新田高校に赴任して

校長　吉　田　玲　子

同窓生の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援、ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

この度、同窓会報が発行の運びとなり、同窓会の皆様方のご発展と親睦のために本当に喜ばしいことと感じております。おめでとうございます。

さて、私は、この四月に着任いたしました吉田玲子と申します。よろしくお願いいたします。素晴らしい自然と広大なグラウンド等に恵まれ、地域からも慕われており、落ち着いた校風の中何事にも一生懸命な生徒達に囲まれ大変楽しく毎日を過ごしております。

本年度は四月八日に入学生百十七名を迎え、校訓である「自主」「誠実」「協和」を掲げ、教育活動がスタートいたしました。

今年度も終盤となりましたが、生徒達は多方面で活躍してくれました。伝統のカヌー部、空手道部はもちろんのこと、陸上競技部はフィールド部門（投擲等）において、県新人大会男子総合優勝を勝ち取り、今まで人数不足で悔しい思いをしていたソフトボール部も県新人大会ベスト16位の成績を収めました。三学年の進路も就職は公務員も含め非常に高い内定率をいただきました。大学進学も推薦・ＡＯ等で続々合格しております。それもやはりどんな状況でも責任を果たし、前向きに取り組まれている中新田高校同窓生の方々のお陰であると考えております。

今後も同窓会の皆様のご協力とご支援を賜りながら、中新田高校をますます発展させていきたいと考えております。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、挨拶といたします。

令和元年度総会開催

令和元年度総会は、九月七日（土）にＪＡ加美「よつば館」で開催されました。参加者は三十五名でした。

佐々木会長のあいさつ、吉田校長の祝辞に始まり、平成三十年度事業、決算、監査の各報告、令和元年度事業計画、予算各案について承認がなされました。その他、創立五十周年記念事業について協議がなされ、その骨子が承認されました。また、役員改選年にあたっており、再任の佐々木会長他、新役員が選出されました。同窓会報の発行も報告されました。

総会後、懇親会が開催されました。規模は大きくないものの、参加者の近況報告や情報交換等、密度の濃いものとなりました。中でも、初代会長で長年その重責を担っていただいた石川幸夫さんの開校時のお話は、興味あるかつ貴重なものでした。石川さんのお話の内容や話しぶりに、会場一同が耳を傾ける様子は感慨深いものがありました。

平成30年度事業報告

- 役員会
  平成30年７月２日
  ８月２日
  ８月31日
  31年２月７日
- ＰＴＡ・同窓会共催模擬面接
  平成30年８月７日
- 総会
  平成30年９月８日
- 同窓会入会式
  平成31年２月28日

平成30年度決算報告

- 収　入　（単位：円）
  - ・繰越金　189,677
  - ・会費　404,400
  - ・入会金　113,000
  - ・雑収入　26,601
  - 合　計　733,678
- 支　出　（単位：円）
  - ・運営費　122,965
  - ・事業費　452,454
  - ・予備費　0
  - 合　計　575,419
- 繰　越　（単位：円）
  - 158,259

令和二年度総会

期日：令和二年九月十二日（土）
午後六時
場所：ＪＡ加美「よつば館」
会費：四千円

【令和二年度　総会世話役】

昭和四十九、五十四、五十九、平成元、六、十一、十六、二十、二十六年度卒

【令和元年度卒　世話役】

一組　佐藤飛翔　鈴木彩香
二組　細目理功　千坂美宇
三組　板垣啓太　西塚ほのか

【新役員】

（～令和三年九月）

会長　佐々木賢司（普15）
副会長　檜野　孝信（普5）
　　村上　晃淳（普10）
監事　鈴木　護（商10）
　　阿部　正志（普15）
幹事　沼田　明美（商2）
　　菅原　江美（普11）
　　阿部　宏幸（普14）
　　鈴木　仁子（商14）
　　西塚　伸子（商14）
顧問　石川　孝之（普15）
　　石川　幸夫（商1）
　　早坂　安美（商1）

創立50周年に向けて

昭和四十八年四月開校の本校は、令和五年度に創立五十周年を迎えます。

開校後、三周年記念事業を始め、十年単位での周年記念事業を実施してきました。四十周年記念事業は、平成二十五年九月に実施されました。

平成三十年度に入り、五十周年の話題が同窓会役員会で上るようになりました。四十周年から五年、五十周年までまだ五年ありました。しかし、今回迎える五十周年はこれまで以上の大きな節目となることから、早めの準備が必要との判断でありました。

平成三十年十二月二十六日、佐々木賢司同窓会長、佐々木寛ＰＴＡ会長、桑折信也前校長の三者による打ち合わせが本校において行われました。その場で次の事業案が確認されました。

一　記念式典の実施
二　記念講演会の開催
三　記念祝賀会の開催
四　記念誌の作成
五　記念品の配付
六　施設整備（備品等含む）の実施

以後、概ね一年で、同窓会総会、ＰＴＡ総会、職員会議において、事業案、予算案（暫定）、準備日程案等が承認されました。

事業主体三者の各案承認後、令和元年十二月十八日に築田智志教頭を委員長として、校内準備委員会が発足しました。準備委員会は、以下の推進委員会から構成されています。

一　総務委員会
二　記念式典・栞作成推進委員会
三　記念祝賀会・記念品推進委員会
四　記念誌編集推進委員会

今後の予定としては、令和二年五月頃に第二回校内準備委員会を開催します。その後、各推進委員会が数回の会議を重ね、同年十月頃の第一回準備委員会（同窓会、ＰＴＡ、学校三者の準備委員会）立ち上げに備えます。この準備委員会を三回程度開催し、五十周年記念式典実施約一年前の令和四年七月頃に、実行委員会設立総会を迎えることになります。

事業を進めるにあたり、同窓会会員の皆様には、各所においてご尽力をいただくことと思います。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

活躍する在校生

今年度も運動部、文化部ともに大いに活躍しました。以下、主な結果を紹介します。

【県総体】

○カヌー部
・男子　第一位種目　K1、K2、K4
・女子　第一位種目　K1
・男子総合　第一位
・女子総合　第三位

○陸上競技部
・男子ハンマー投げ　第二位
・女子ハンマー投げ　第三位

【東北大会】

○カヌー部
・男子　K4、C4　第三位
・男子総合　第三位

【インターハイ】

○カヌー部
・男子　K4　第四位

【県国体予選】

○カヌー部
・男子　第一位種目　K1、K2、K4
・女子　第一位種目　K1、K2

○陸上競技部
・男子ハンマー投げ　第二位
・男子ハンマー投げ　第三位

【東北国体予選】

○カヌー部
・男子　K4　第二位

【県新人大会】

○カヌー部
・男子　第一位種目　K1、C1、K2、C2、K4、C4
・男子総合　第一位
・女子総合　第三位

○陸上競技部
・男子円盤投げ　第一位
・男子ハンマー投げ　第一位
・女子ハンマー投げ　第一位
・男子フィールド総合第一位

【東北新人大会】

○陸上競技部
・男子円盤投げ　第三位
・男子槍投げ　第三位

○カヌー部
・男子C4　第一位
・男子C2　第二位
・男子K4　第三位
・男子総合　第二位

進路状況

３学年進路状況

令和２年２月７日現在

	希望者数	合格者数	合格率
四年生大学	10	9	90.0%
短期大学	11	11	100.0%
専門・各種学校	27	22	81.5%
進学全体	48	42	87.5%
民間就職	50	47	94.0%
公務員	9	9	100.0%
就職全体	59	56	94.9%

【主な進学先】

《四大》東北学院大学　仙台大学　東北工業大学　仙台白百合女子大学　宮城学院女子大学　石巻専修大学　大阪商業大学　東北生活文化大学

《短大》宮城誠真短大二名　仙台青葉学院短大六名　聖和短大二名　山形県立米澤女子短大　修紅短大

《専門学校》葵会仙台看護専門学校　東北外語観光専門学校二名　仙台医療福祉専門学校　仙台医療秘書福祉専門学校三名　東北職業能力開発大学校　他

【就職概況】

民間就職希望者のうち三十五名が大崎管内、十三名が他県内、県外は一名と地元志向が強くなっています。公務員は合格者九名と健闘しました。

《民間就職》プライムアースＥＶエナジー㈱二名　ＹＫＫＡＰ㈱二名　アルプスアルパイン㈱二名　トヨタ自動車東日本㈱　㈱東亜レジン古川　日本郵便㈱　加美よつば農業協同組合二名　古川農業協同組合、アスカカンパニー㈱　アイシン高丘東北㈱　㈱コバヤシ　㈱加美町振興公社　㈱東北ライト製作所　タカノフーズ東北㈱　サントリービバレッジ㈱　㈱ピックルスコーポレーション　ナカリ㈱　永仁会病院　華桜会　みちのくミルク㈱二名　共伸プラスチック㈱　日東コーン㈱　宮城ＮＯＫ㈱　他

《公務員》自衛官五名　大崎市職員　加美町職員　大崎地域広域行政事務組合消防職員　加美町社会福祉協議会職員

新生徒会長あいさつ

三浦　真龍

この度生徒会長となりました、三浦真龍です。

私は、この任期の中で中高をより良くしていくために、二つの理想像を考えました。一つ目は、先生と生徒が互いに尊重しあえる学校。二つ目は、心に残り続ける学校です。この二つを叶えるために、行事の改善を主に取り組みます。

生徒会長になるにあたって、モットーを立てました。それは、「一ミリでも変化を」です。どんなに小さくても何かしらの変化をもたらしていきたいと思っています。このモットーのもと精一杯頑張りますので、一年間よろしくお願いします。

同窓会功労賞

令和元年度功労賞が次の諸君に授与されました。功労賞は、在学中に全国レベルの大会に出場した生徒が対象となり、卒業時に授与されるものです。皆さんおめでとうございます。

○カヌー部

佐藤　千紘 君
（令和元年度インターハイ他）

菅原　大貴 君
（平成30年度インターハイ他）

岩松　瑠羽 さん
（令和元年度インターハイ他）

同窓会では、功労賞の他に特別功績賞（当該年度の全国大会等で概ね三位以上の成績を上げた生徒が対象）も授与していますが、今年度は該当者がありませんでした。